


サイエンスアゴラ
ISTA展示室へ
ようこそお出で下さいました

このスライドショーは
COMA DESIGN STUDIO 石垣健 制作による
科学と芸術を巡る
対話のための問題提起です

COMA DESIGN STUDIO + Arsnote Lab. KEN ISHIGAKI

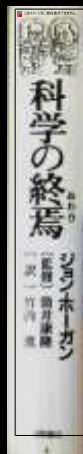



制作者 石垣健 は 上記のような作品を制作している 造形作家です
<http://www.arsnote.com/coma/>

COMA DESIGN STUDIO + Arsnote Lab. KEN ISHIGAKI

今日は この場をかりて
互いの職種を離れ
一人の人間として
科学と芸術の関係を考えてみましょう

COMA DESIGN STUDIO + Arsnote Lab.


KEN ISHIG 

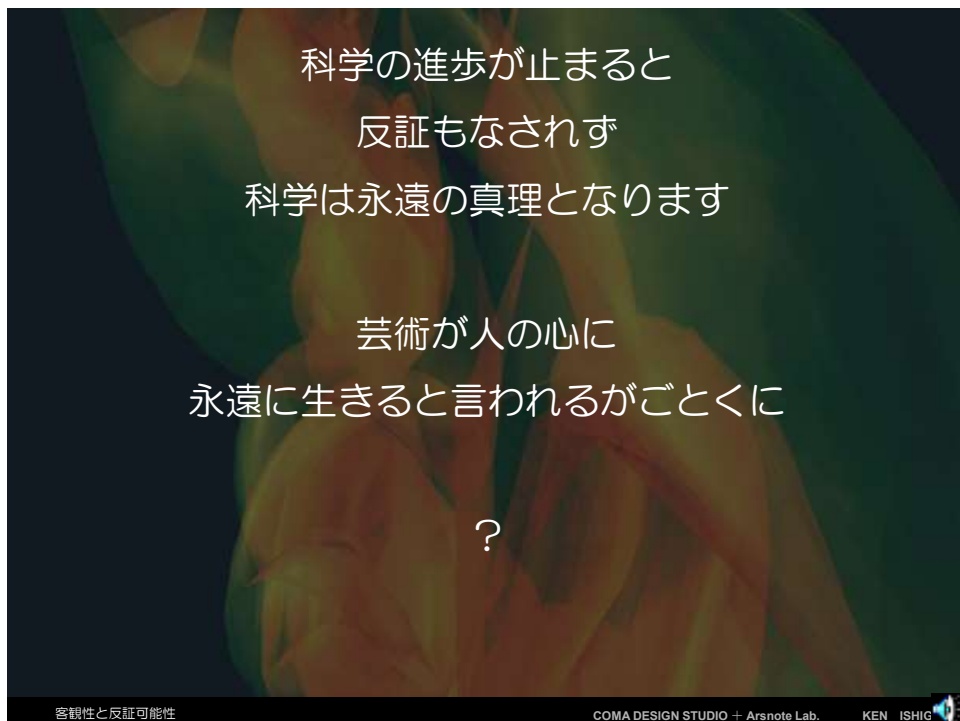
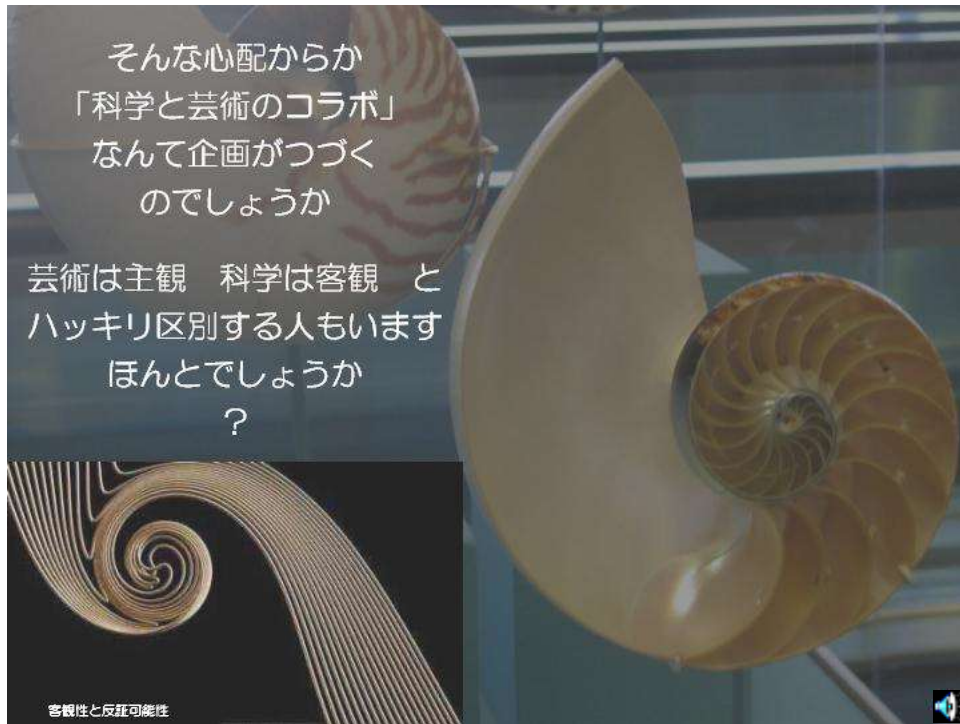
科学のおわりとか
科学ばなれとか
言われて
すでに久しいように
思います

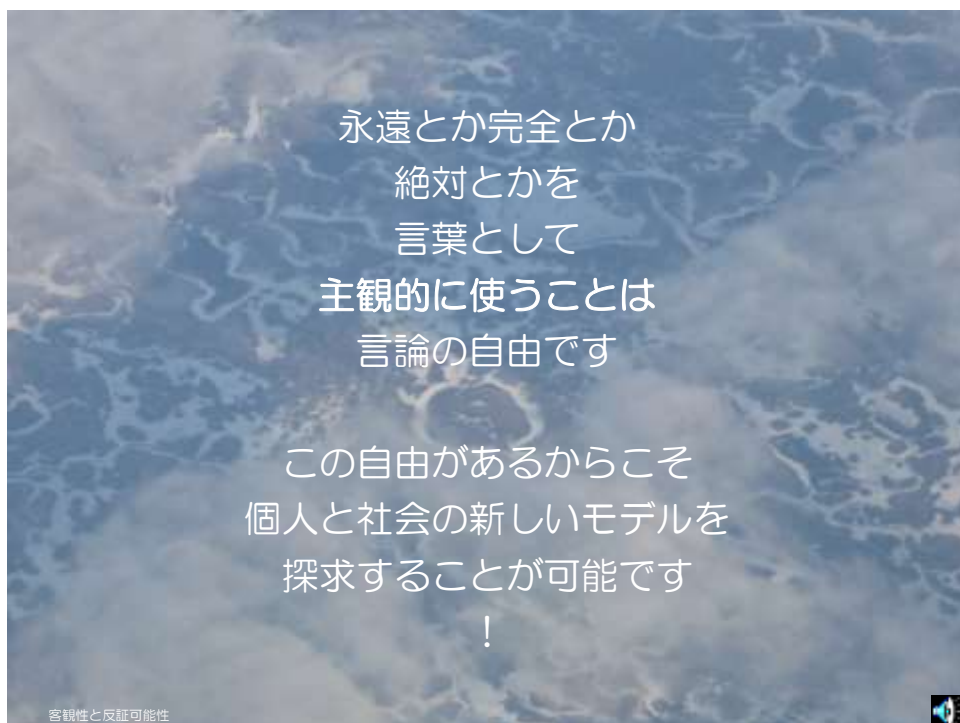
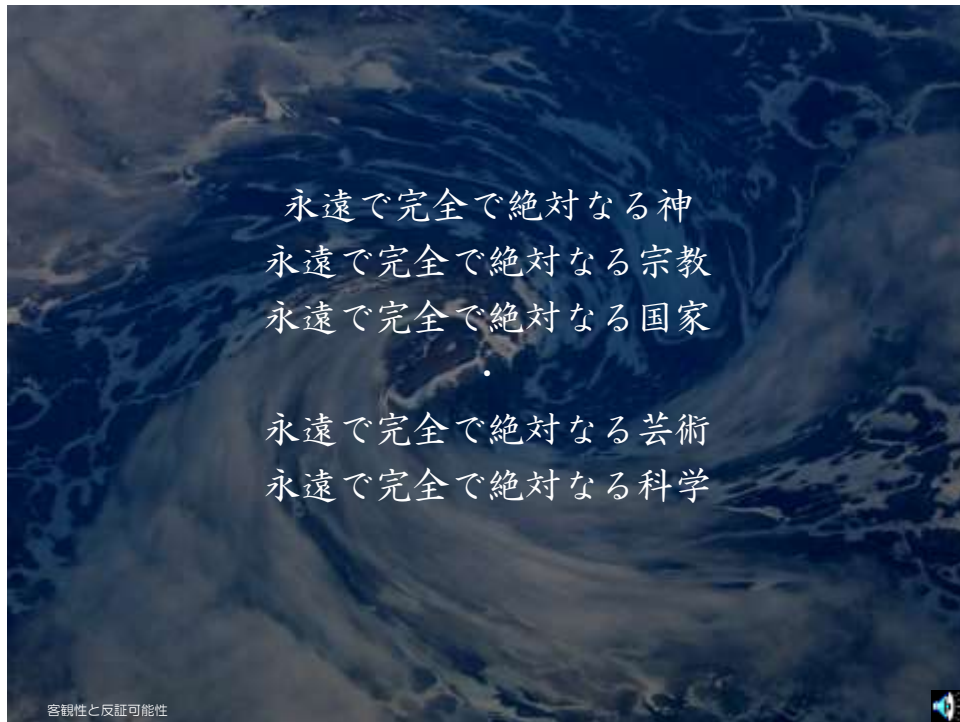
皆さんも
そう思われますか
？

客観性と反証可能性

COMA DESIGN STUDIO + Arsnote Lab.

KEN ISHIG 





しかし
10次元とも言われる
私達の生きる宇宙は
知覚の方法や精度を変えれば
やがて
別の世界が見えてきます

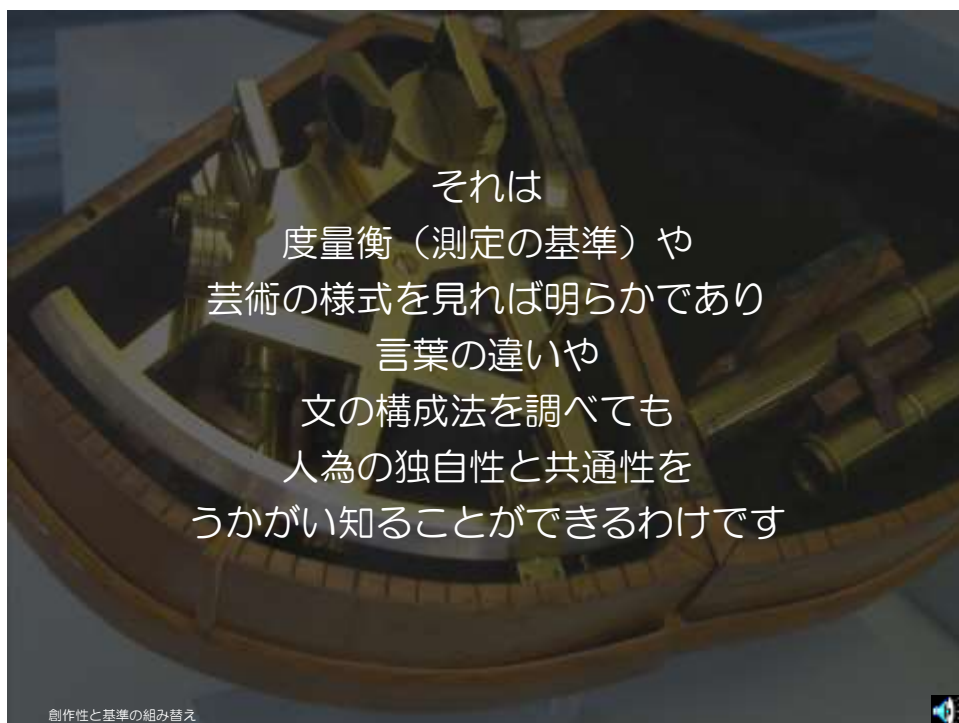
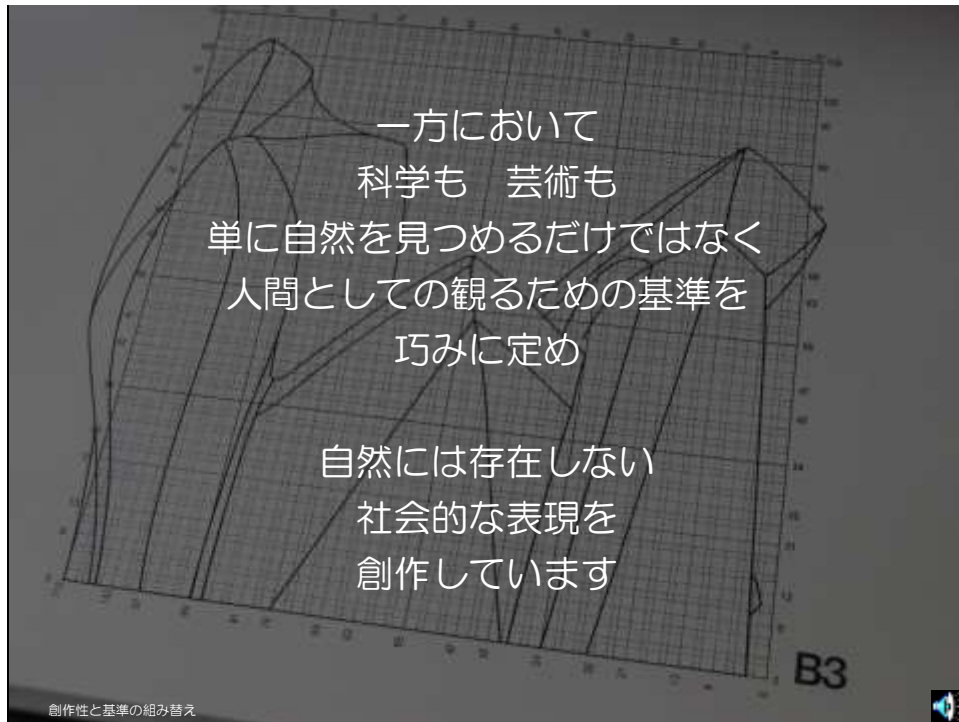
客観性と反証可能性

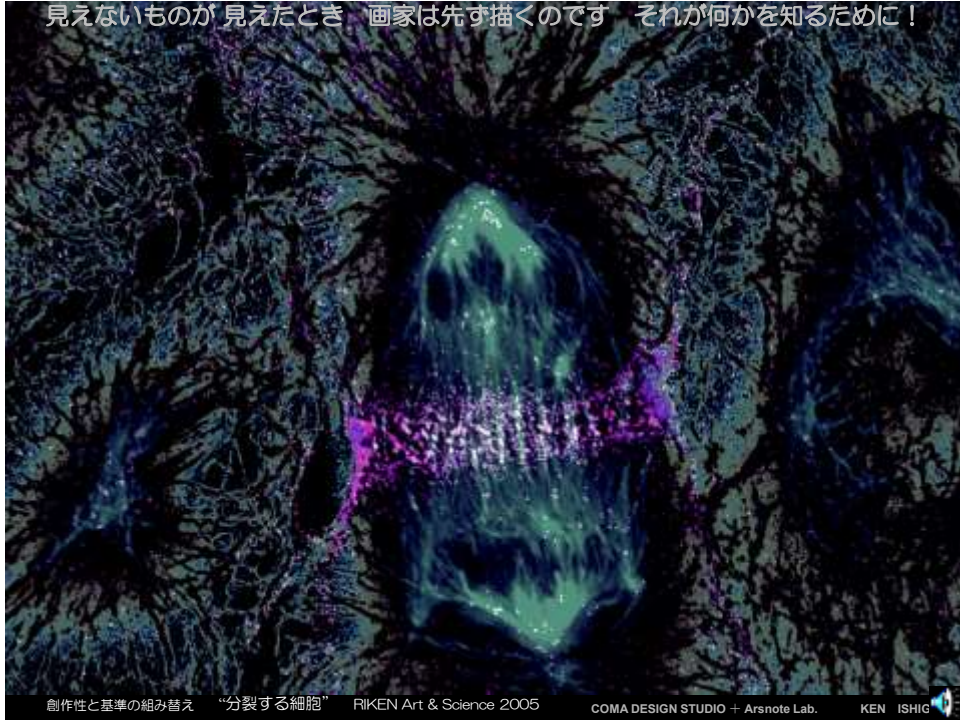
COMA DESIGN STUDIO + Arsnote Lab. KEN ISHIG

芸術でさえ
時代が変わり
異なる価値観で観れば
異なる評価もなされます

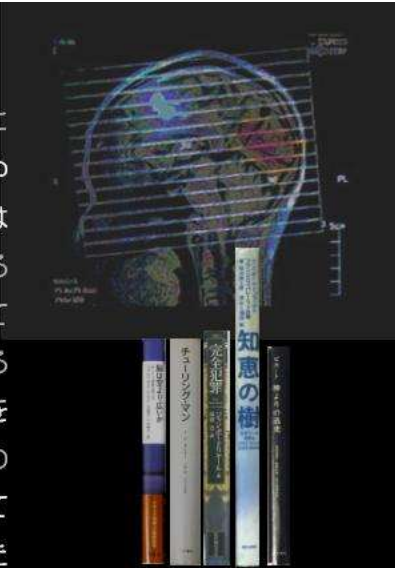
反証可能性は
持続的に客観性をささえているのです

客観性と反証可能性





さて現代に目を向けると
すでに生まれて久しい細胞生物学や
近年注目されている脳科学は
情報科学の実証例である
コンピュータシステムを具体例として
無意識ではほとんど一体である
存在・認識・行動を
一つのシステムの中の
ビット情報（ある・ない）の連携として
分けて認識するようになりました



新しい「デザインの科学」

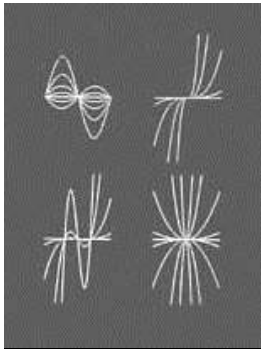
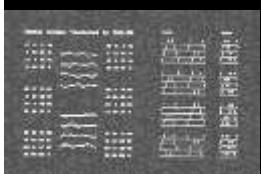

COMA DESIGN STUDIO + Arsnote Lab. KEN ISHIGAKI



シロイヌナズナの DNA Book

RIKEN 独立行政法人 理化学研究所

新しい「デザインの科学」

差異のみを表す**ビット**という基準は
数えることから学んだ数学のように
【ギザギザ相似】を
きめ細やかにして
みごとな技術で線形のアナログを装い
【デジタルアナロジー】を
人々に認知させてしまいました

そして
最も得意な論理的処理は
人間の知能の領域をも
プログラムするようになったのです

新しい「デザインの科学」

COMA DESIGN STUDIO + Arsnote Lab. KEN ISHIG

スケールどころか基準すらいらぬ究極の度量衡

最も単純なビットの単位が

違いを表し
文字を見分け
構文を解釈し
画像を動かし
パターンを認識する

digital

この驚くべき無血革命児
そしてすでに地球を覆うその繁殖力
!

新しい「デザインの科学」

この革命続きの産業社会において
デザインの意味はいつのまにか変わりました
新しいデザインとは

このような
存在・認識・行動を同時に見渡す
新たな基準とパターンの探究であり
その更新プロセスの創出なのです。

デザインの科学

淘汰を科学し 熟慮した計画による
科学・技術・デザイン・芸術

これらの協働こそが
より持続する社会へと
私達を誘うのでしょうか



新しい「デザインの科学」

COMA DESIGN STUDIO + Arsnote Lab.

KEN ISHIGURO

持続する社会をめざすとき
制御しにくかった欲望が
いつの間にか
大問題を引き起こします



新しい「デザインの科学」



